

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	西巣鴨・学びの保育園
活動日時	令和8年 1月 7日（水）
クラス名(年齢)	4～5歳
年間テーマ	自然

1. 活動テーマ

<テーマ>

自然

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

・散歩先に落ちている石や植物に興味を示していたため、虫メガネを持って散歩に行く。虫メガネを使って観察することで、細かい部分までじっくり見ることができ、様々な気付きがあったため。
--

2. 活動スケジュール

・虫メガネを持って散歩に行く。持ち帰り、ライトテーブルで観察する。

3. 環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)

・虫メガネ、ライトテーブル、図鑑

4. 探求活動の実践

<活動内容>

・虫メガネを持って散歩に行く。持ち帰り、ライトテーブルで観察する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
・散歩先に落ちていた石に興味を示し、虫メガネで観察し、「これは、隕石だと思う」「土を掘ったらもっと出てくるかな？」と子どもたち同士で様々な意見を言い合いながら遊びを楽しんでいる。 ・「土を落としたら石がきれいになるのではないか」と考え、石でこすって砂を落としている。 ・土を落とした石をライトテーブルに乗せ、観察する。ライトテーブルの上で観察したことで「きれいな石もあったり、土がいっぱいついてる石もあったね」と話している。	  

5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

職員会議で振り返りを行う。 散歩先に大きさや形の様々な石が落ちていることに気付き、虫メガネを使って細かい所までじっくり観察していた。この日は、虫メガネを用意していたため、普段とは違って石を観察してみようとする子どもの姿が見られた。形や大きさから様々な予想をし、「恐竜の化石ではないか。」などと子どもたちなりの予想が展開されていた。持ち帰り、もっと調べてみたいとのことだったので、大きい石をいくつか持ち帰り、土を落としたり、ライトテーブルの上に置き、照らしてみたりしながら遊びに夢中になっていた。岩石や鉱物の図鑑もあったので、調べながら探求し、子どもたちなりの仮説を立てて自分たちで「次は〇〇してみよう」と探求の仕方も変化していったので、子どもたちのやってみたいと思うことができるように環境を構成していきたい。
--